

バージョン12リリースノート

Flowmon Probe/Collector

注：Ver UP 時には再起動、及びファイルチェックが行われます。Ver UP ご検討の際にはご相談ください。

Ver.No	リリース日	追加機能
Ver 12.03.02	2023/11/22	重要な情報
		<p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルのエクスポートすることが保証されています。</p> <p>例： Flowmon v12リリースの場合、v12.03.x リリースからの構成エクスポートはv12.04リリースと互換性があります。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成はFlowmon 12と互換性があり、インポートできます。</p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.3 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p>
		修正された不具合
		多くのチャネルを持つプロファイルがレポートで使用されている場合でも、レポートが正しく機能するようになりました。
		DAのフローソース設定更新が最適化され、DAT-ポリシーに多数のフローソースがある場合にも、停止を引き起こさないようになりました。
		DAT-ポリシーパッケージの更新プロセスで、マスターユニットのGUI上で小サイズパッケージのアップデートに時間がかかる問題が解決されました。
		ダッシュボードのウィジェットで時々起こる不具合が修正されました。
		解析でのフィルタリングは、スペース文字を含む属性に対しても正しく機能するようになりました。
		Flowmon Probeのエクスポートされたフローデータに、不正なQUICパケットに起因するギャップがなくなりました。
		新機能
		最新のEULAがインストール後に管理者ユーザに表示されるようになりました。
		アクティブデバイスが使用するMAC - ベンダマッピング情報が更新されました。データは IANA/IEEEから取得しました。
		解析で長時間実行されているクエリに、おおよその完了時間が表示されるようになりました。
		製品使用状況のデータ収集が有効になっている場合、ページヘッダーのヘルプドロップダウンメニューはリソースセンターに置き換えられるようになりました。
		initiatorPackets(231) および responderPackets(232) IPFIX フィールド (Gigamon デバイスによってエクスポートされる) のサポートが追加されました。
		PostgreSQLがバージョン 12.17 に更新され、CVE-2023-5869 が修正されました。
		phpseclibパッケージがバージョン 2.0.45 に更新され、CVE-2021-30130 が修正されました。
		bind パッケージがバージョン 9.11.4-26.P2.el7_9.15 に更新され、CVE-2023-3341 が修正されました。
		OS カーネルが 3.10.0-1160.102.1 に更新され、CVE-2023-32233 および CVE-2023-35001 が修正されました。
		Ver 12.03.01
<p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルのエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成はFlowmon 12と互換性があり、インポートできます。</p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.3 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p>		
修正された不具合		
Flowmon 12.3.0で発生したGUIパフォーマンスの問題が修正されました。		
クォータは、履歴プロファイルが存在する機器の入力ボックスを使用して再度変更することができるようになりました。		
レポートで使用する場合、昨日の時間範囲に正しい開始日が設定されるようになりました。		
Flowmon GUIは、小さいシステムパーティションを持つアプライアンスから再びアクセスできるようになりました。		
新機能		
NodeJSが16.20.2にアップデートされました。		
Ver 12.03.00	2023/10/3	
		<p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルのエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成はFlowmon 12と互換性があり、インポートできます。</p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.3 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p>
		修正された不具合
		過去にリスニングポートの変更があった場合、リスニングポートに対する冗長なファイアウォールルールが作成されず、すぐに削除されない問題が修正されました。
		レポートのスケジュールを特定の間隔（直近1週間）で保存することが可能になりました。
		LDAP認証は、カスタムグループDNで定義されたユーザーグループに対してうまく機能するようになりました。
		アップグレードパスの一部としてFlowmon 11.0.3リリースが使用された場合、アップグレード後にモニタリングポートが欠落する問題が修正されました。
		IPアドレスまたはFlowmonバージョンが定義されていない場合、バックアップは続行されない問題が修正されました。
		非アクティブ時のタイムアウト値が低く、ネットワークトラフィックが大きい場合、メモリ消費量が多くなるため、Flowmonフロー上にエクスポートされたフローデータにギャップが生じないようにしました。
		アラートは、DAコンフィギュレーションの一貫性チェックが10分間繰り返し失敗した場合にのみ、通知ベルに送信されるようになりました。
		ブラウザの起動後にタブを再度開くと、Chromeブラウザで解析ページが正しく開くようになりました。
		DAマスターユニットでnfdumpクエリがキャンセルされると、スレーブユニットでもキャンセルされる（リソースの消費が止まる）。
		UIが固まった場合でも、DAユニットCLIにアクセスしてログをダウンロードすることが可能になりました。
		FCC UI から長時間実行中のクエリを終了しても、他のバックエンドタスクの実行には影響が出ないようになりました。
		デバッグ出力のためにXMLをインポートする場合、1分30秒のshadowソースプロファイルの開始時間が正しく出力されるようになりました。
		SNMPトラップは、重大度の高い警告メッセージに対して生成されるようになりました。
		APMモジュールのアンインストールが完了すると、APMファイアウォールルールがソースグループの設定ファイルから削除されるようになりました。
		解析ページでポート名を変更すると、ダッシュボードに反映されるようになりました。
		Flowmonは、フローソースとして使用されるSonicwallファイアウォールからのタイムスタンプを適切に処理できるようになりました。
		トップチャプターの計算がデータベース接続の上限に達しないようになりました。
トッププライオリティ・マスターユニットを使用して、分散アーキテクチャ・ユニットのIPアドレスを変更することが可能になりました。		
トップチャプターのウィジェットで、フローのソースIPアドレスとインターフェイスインデックスを対応することで、集約が修正されるようになりました。		

		<p>ユーザIDの解析作業が分散アーキテクチャで実行されるようになりました。</p> <p>30秒プロファイルがある場合でも、ディザスタバックアップは失敗しないようになりました。</p> <p>ユーザ詳細変更ログエントリは、LDAPサーバーからユーザ詳細が更新された場合にのみ表示されるようになりました。</p> <p>新機能</p> <p>Flowmon Monitoring Centerの過去の傾向機能では、現在のネットワークトラフィックを過去の値と比較できるようになりました。</p> <p>Flowmon Configuration Centerのアクティブセッションタブには、すべてのアクティブユーザのリストが表示され、ログアウトできるようになりました。</p> <p>ダッシュボードとレポートに新しいナビゲーションバーが追加されました。</p> <p>Flowmonのドキュメントはhttps://docs.progress.comで利用できるようになりました。</p> <p>subscription-manager パッケージが更新されました (CVE-2023-3899 を修正)。</p> <p>REST APIを使用して、Flowmonアプライアンスにライセンスをインポートできるようになりました。</p> <p>PHPが8.1にアップデートされました。</p> <p>既知の不具合</p> <p>履歴プロファイルがある場合、入力ボックスを使用してクォータを変更することはできません (回避策としてスライダーを使用することができます)。</p>
Ver 12.02.06	2023/8/30	<p>重要な情報</p> <p>Flowmonバージョン12.2.0より古いバージョンからアップデートする場合、アップデート中にアプライアンスが再起動されます。</p> <p>レポート機能は、Monitoring Centerから削除されました。Dashboard and Reportsを使用するのみ、レポートにアクセスできます。</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成はFlowmon 12と互換性があり、インポートできます。</p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.2 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p> <p>修正された不具合</p> <p>All Sourcesプロファイルより古いプロファイルを編集して保存できるようになりました。</p> <p>LDAP サーバーから CN 属性が返されなくても、LDAP 認証は正しく機能するようになりました。</p> <p>カスタムグループ DN に定義されたグループがある場合、LDAP 認証は正しく機能するようになりました。</p> <p>新機能</p> <p>OpenSSH パッケージが更新され、脆弱性CVE-2023-38408 が修正されました。</p> <p>HTTPS パッケージが更新され、脆弱性CVE-2023-25690 が修正されました。</p> <p>Python および Python3 パッケージが更新され、脆弱性CVE-2023-24329 が修正されました。</p>
Ver 12.02.05	2023/7/10	<p>重要な情報</p> <p>Flowmonバージョン12.2.0より古いバージョンからアップデートする場合、アップデート中にアプライアンスが再起動されます。</p> <p>レポート機能は、Monitoring Centerから削除されました。Dashboard and Reportsを使用するのみ、レポートにアクセスできます。</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成はFlowmon 12と互換性があり、インポートできます。</p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.2 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p> <p>修正された不具合</p> <p>存在しないソースを持つアラートをインポートしても、ソースが削除されることはなくなりました。</p> <p>仮想アプライアンスから監視インターフェースを削除しても、他の監視ポートが継続的に再起動することがなくなりました。</p> <p>アラートの文字変換が修正されました。</p> <p>災害復旧用に XML をインポートするときに、シャドウ ソース プロファイルの開始時刻が正しく表示されるようになりました。</p> <p>モニタリングポートが利用可能で、ユーザーインターフェース (UI) に適切に表示される。</p> <p>監視ポートがKVM仮想アプライアンス上で正しく機能するようになりました。</p> <p>分散アーキテクチャ(DA)でSyslogサーバーを使用しても、DA構成の不一致が発生しなくなりました。</p> <p>DA構成の不一致は、少なくとも2つのソースグループと、これらのプロファイルが割り当てられた新しいユーザーの役割が存在する場合に修正されるようになりました。</p> <p>トップチャプターの選択された時間全体でデータを利用できない場合、表示される時間間隔が調整され、ウィジェットのフッターに通知が表示されるようになりました。</p> <p>外部サーバーへのプロファイルバックアップが正常に機能するようになりました。</p> <p>Flowmon Configuration Center (FCC)のLDAP UIが、多数のLDAPグループに対して正しく機能するようになりました。</p> <p>FlowmonはVDSのLDAPサーバーで正しく動作するようになりました。</p> <p>sFlowでのフロー収集がDAで適切に機能し、新しいフローソースが繰り返し追加されることがなくなりました。</p> <p>LDAP認証が有効な場合、プロキシユニットでDAコンフィギュレーションの不一致とシステムディスクがいっぱいになる問題を修正されました。</p>
Ver 12.02.04	2023/4/11	<p>重要な情報</p> <p>Flowmonバージョン12.2.0より古いバージョンからアップデートする場合、アップデート中にアプライアンスが再起動されます。</p> <p>レポート機能は、Monitoring Centerから削除されました。Dashboard and Reportsを使用するのみ、レポートにアクセスできます。</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成はFlowmon 12と互換性があり、インポートできます。</p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.2 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p> <p>修正された不具合</p> <p>DAユニット間のフローソースの構成の不一致は、DAのマイナー/メジャーバージョンからのアップデート後に報告されなくなりました。</p> <p>DA ユニット間の自律システム構成の不一致は報告されなくなりました。</p> <p>複数の分散アーキテクチャ (DA)のソース グループから生成され、1 つのソース グループに選択したプロファイルのデータがない場合、時系列が空になることはなくなりました。</p>
Ver 12.02.03	2023/3/27	<p>重要な情報</p> <p>Flowmonバージョン12.2.0より古いバージョンからアップデートする場合、アップデート中にアプライアンスが再起動されます。</p> <p>レポート機能は、Monitoring Centerから削除されました。Dashboard and Reportsを使用するのみ、レポートにアクセスできます。</p>

		<p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成はFlowmon 12と互換性があり、インポートできます。</p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.2 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p> <p>修正された不具合</p> <p>分散アーキテクチャ (DA) の構成が正しく更新され、更新後に DA ユニットが TPM ユニットに適切にデータを送信しています。</p> <p>サブテナントで作成されたプロファイルは、適切にデータを取得しない問題を修正しました。</p> <p>テナントが削除された後、プロファイルはデータの取得を停止してしまう問題を修正しました。</p>
Ver 12.02.02	2023/3/15	<p>重要な情報</p> <p>Flowmonバージョン12.2.0より古いバージョンからアップデートする場合、アップデート中にアラートが再起動されます。</p> <p>レポート機能は、Monitoring Centerから削除されました。Dashboard and Reportsを使用するのみ、レポートにアクセスできます。</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成はFlowmon 12と互換性があり、インポートできます。</p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.2 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p> <p>CVE-2023-26100 - Flowmonバージョン12.2.2 以前では、アプリケーション エンドポイントがユーザ提供の入力をサニタイズできませんでした。脅威者は、Flowmonユーザのウェブブラウザのコンテキスト内で任意のコードを実行するために、反射型XSS脆弱性を活用することができます。</p> <p>※CVE-2023-26100はFlowmonの特定脆弱性です。</p> <p>修正された不具合</p> <p>ソースグループの削除時に古いソースグループXMLがデータベースから削除されるため、この無効なXMLによって分散アーキテクチャ (DA) の整合性に問題が発生したことを修正しました。</p> <p>分散アーキテクチャ (DA) の構成が正しく更新され、更新後に DA ユニットが TPM ユニットにデータを正しく送信しています。</p> <p>新機能</p> <p>TACACS+設定で認証クエリのタイムアウトを設定できるようになりました。</p> <p>LDAP設定で認証クエリのタイムアウトを設定できるようになりました。</p> <p>Cisco デバイスの dot1qVlanId (243) および postDot1qVlanId (254) IPIX フィールドがサポートされるようになりました。</p>
Ver 12.02.01	2023/2/8	<p>重要な情報</p> <p>Flowmonバージョン12.2.0より古いバージョンからアップデートする場合、アップデート中にアラートが再起動されます。</p> <p>レポート機能は、Monitoring Centerから削除されました。Dashboard and Reportsを使用するのみ、レポートにアクセスできます。</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成はFlowmon 12と互換性があり、インポートできます。</p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.2 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p> <p>修正された不具合</p> <p>ユーザが削除された場合にホームページが正しく読み込まれない問題を修正しました。</p> <p>GUI から互換性のないモジュールを開始またはアンインストールすることはできなくなりました。</p>
Ver 12.02.00	2023/1/31	<p>重要な情報</p> <p>アップデート中にアラートが再起動されます。</p> <p>レポート機能は、Monitoring Centerから削除されました。Dashboard and Reportsを使用するのみ、レポートにアクセスできます。</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成はFlowmon 12と互換性があり、インポートできます。</p> <p>スペイン語、フランス語、ドイツ語のローカライズのサポートは、Flowmon v13 で終了する予定です。12.2 リリースには、これらの言語を使用しているユーザに通知するための通知が含まれています。</p> <p>修正された不具合</p> <p>CA証明書をインポートする際に、CA証明書の不一致に関する問題を修正しました。</p> <p>グラフの視覚化に関する問題を修正しました。</p> <p>アップグレード中にログインページにリダイレクトされることがある問題を修正しました。</p> <p>Zoomプリセットが更新されました。</p> <p>DNS統計情報の時系列表示に関する問題を修正しました。</p> <p>災害時のバックアップとリカバリを使用する場合、シャドウプロファイルの開始時刻が正しく表示されない問題を修正しました。</p> <p>災害バックアップリカバリ機能を使用する場合、リカバリ後にプロファイル チャンネルが失われてしまう問題を修正しました。</p> <p>重複するサブネットがある場合に、サブネットによるフィルターは有効な結果を返さない問題を修正しました。</p> <p>チャンネルフィルターの最初と最後に括弧がある場合、時系列表示ができない問題を修正しました。</p> <p>CSVエクスポートで日単位で集約される場合、1 日全体のデータが正しく表示されるようになりました。</p> <p>ソース更新時にSNMPフィールドAliasが提供されない場合、User Interface (UI) エラーが発生する問題を修正しました。</p> <p>ユーザ ガイドが修正されました。</p> <p>Configuration center > モニタリング ポート章にフィルターの構文サンプルから改行が削除されました。</p> <p>TLS_RSA cipher suitesのサポートは、TLS 対応のリスン ポートから削除されました。</p> <p>一時的な設定ファイルは時間が経つと自動的に削除されるようになりました。こちらはディレトリのサイズが無秩序に大きくなるを防ぐためです。</p> <p>一部の集約を行ったTOPチャプターのデータが利用できない問題を修正しました。</p> <p>送信元 MAC アドレスは、TLS および SMB トラフィックを表すフローに存在します。</p> <p>Active Devices 機能は DA プロキシ ユニットで実行されなくなったため、ログに関連するエラーはありません。</p> <p>「ディスクの再起動とチェック」関連するすべてのパーティション (ext3, ext4, および xfs) で動作します。</p> <p>All Sourceでチャンネルの色を変更できない問題を修正しました。</p> <p>Configuration center > システム > システム設定 > 外部データストレージで、「書き込み権限のテスト」ボタンが有効にならない問題を修正しました。</p> <p>TCP/443 のリスン ポートを作成することはできなくなる問題を修正しました。</p> <p>ソースによって使用されるリスニング ポートが複数ある場合、フロー ソースの IP 変換は正しくなります。</p>

		<p>レポート内にIPプロトコルが正しく表示されない問題を修正しました。</p> <p>解析からエクスポートされたPDFで、列が切り捨てられてしまう問題を修正しました。</p> <p>HTTPヘッダーがCRLFで終了していない場合でも、Flowmon Probesによって適切に解析されるようになりました。</p> <p>誤ったユーザIDまたはロールIDによって発生するDAの設定不整合を修正しました。</p> <p>サブテナントでプロファイル ID が制限されている場合、DA 構成のハッシュの不一致は報告されないようになりました。</p> <p>エクスポートされた CSV ファイルに UTF-8 バイト オーダー マークが存在します。</p> <p>Flowmon Probe PROモデルでは、モニタリングポートのIP設定は有効化することができないようにしました。</p> <p>ユーザガイドが更新され、Flowmon はバスフリース保護付きのホスト証明書キーをサポートしていないことが記載されています。</p> <p>設定ファイル (XML) のインポートでパスワードを変更すると、ユーザは自動的にログアウトされます。</p> <p>セッション タイムアウトと REST API トークンの有効期間が GUI で設定できるようになりました。</p> <p>モニタリングポートがライセンスされていない場合、回線速度が不明な場合は、GUI上ではライセンスが付与されない旨と表示された問題を修正しました。</p> <p>チャートに定義済みのフィールドの色が固定されるようになりました。</p> <p>PostgreSQL 拡張を有効にした Probeのモニタリングポートが、パケット解析エラーが原因でクラッシュすることはなくなりました。</p> <p>新機能</p> <p>トポロジーのテーブル ウィジェットでは、カスタマイズ可能なテーブルでトポロジーを視覚化し、重要なトポロジー パラメータを全体的に把握することができます。</p> <p>User Interface (UI) の色とロゴが、Progress のブランドを反映するように更新されました。</p> <p>VMware、Hyper-V、KVM、QEMUの各ツールがFlowmon製品に統合されました。VAツールパッケージを手動でインストールする必要はありません。インストール済みの古い Flowmon VAパッケージは、アンインストールされます。</p> <p>Flowmon アプライアンスのリモート アクセス (SSH および HTTPS) は、FIPS 140-2 承認済みのセキュリティ アルゴリズム (暗号スイート) によって保護されています。これには、Flowmon の web-baseのインターフェースまたは CLI にアクセスするためのクライアント ソフトウェアの更新バージョンが必要になる場合があります。</p> <p>Flowmon Probeは、QUICプロトコル (HTTP/2およびHTTP/3のトランスポート層) を識別し、QUICトラフィックからSNIを取得できるようになりました。</p> <p>Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) のユーザおよび役割構成の分布が改善されました。</p> <p>誤ったユーザ または役割IDが原因で発生する不整合を防止しました。</p> <p>DAユニットごとに、インストール完了をステータスアイコンと通知メッセージで表示されるようになりました。</p> <p>DAトポロジーに割り当てられていないユニットがある場合、新しいパッケージのインストールが妨げられます。</p> <p>リモートユニットからダウンロードを開始し、後でログを取得することにより、ログを非同期的にダウンロードできるようになりました。</p> <p>DA ユニットの選択してログのダウンロードができるようになりました。</p> <p>アップデート中にインストールの進行状況を表示するようになりました。</p> <p>アップデート (Flowmonパッケージまたはモジュールのインストール) 中に、不整合の可能性を防ぐために再起動またはシャットダウンすることができません。</p> <p>インタクティブなユーザをログアウトさせるためのセッションタイムアウトの設定を追加しました。</p> <p>REST API アクセストークンおよび REST API リフレッシュトークンのタイムアウトの設定を追加しました。</p>
Ver 12.01.01	2022/7/20	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成は Flowmon 12と互換性があり、インポートできます。</p> <p>以下のアプライアンスでは、Flowmonアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。</p> <p>Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro, and Flowmon Probe 200000 Pro</p> <p>また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>「高度な解析の実行結果に表示されるTOSやASなどの項目を「名前の変更」ができない不具合を修正しました。</p> <p>NPMに関して、高度な解析にて「並べ替え基準: 平均ジッター」を設定した際に、平均ジッターの降順に表示されない不具合を修正しました。</p> <p>既知の不具合</p> <p>Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM Probeとの互換性はありません。これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe リリースで対処される予定です。</p>
Ver 12.01.00	2022/6/15	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成は Flowmon 12と互換性があり、インポートできます。</p> <p>以下のアプライアンスでは、Flowmonアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。</p> <p>Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro, and Flowmon Probe 200000 Pro</p> <p>また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>PDF形式にエクスポートされたレポートで時系列グラフの描画を失敗する問題が修正されました。</p> <p>Intel製ファームウェアを使用したNIC (X710) を搭載した Flowmon Probeがv12.00.xxにバージョンアップできない問題を修正しました。</p> <p>新機能</p> <p>将来提供予定の新しいハードウェア構成に対応しました。</p> <p>既知の不具合</p> <p>Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM Probeとの互換性はありません。これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe リリースで対処される予定です。</p>
Ver 12.00.02	2022/5/10	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成は Flowmon 12と互換性があり、インポートできます。</p> <p>以下のアプライアンスでは、Flowmonアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。</p> <p>Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro, and Flowmon Probe 200000 Pro</p> <p>また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>プロファイルのグループを変更した場合、Flowmonダッシュボードに関連するトップチャプターが壊れてしまう問題を修正しました。</p> <p>ECDSA証明書のサポートが追加されました。</p> <p>「高度な解析の実行結果に表示される各項目を「名前の変更」で変更してもキャッシュがクリアされず、一定期間経過後ないと変更したものが反映されない問題を修正しました。</p>

		<p>REST APIガイドのプロファイル作成方法のサンプルが修正されました。</p> <p>Flow Quality Analyzerは、フローエクスポーターを再起動しなくてもフローデータを収集できるようになりました。</p> <p>既知の不具合</p> <p>Flow Quality Analyzerでフローレコードの受信に問題が発生する可能性があります。 フローレコードの受信に問題が発生した場合の回避策は、フローデータのモニタリングポートを再起動することです。 本問題は、今後のバグフィックスリリースで解決される予定です。 競合するプロセスが同時に実行された際に「Hash checking has failed on unit xxx. Configuration may not be applied to this unit.」というエラーメッセージが表示されます。Flowmon v12.02で修正される予定です。</p>
Ver 12.00.01	2022/4/12	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルのエクスポートすることが保証されています。 メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成はFlowmon 12と互換性があり、インポートできます。 以下のアプライアンスでは、Flowmonアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。 Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro, and Flowmon Probe 200000 Pro また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>Open VM Toolsは、HWアプライアンスの更新プロセスを妨げることはなくなりました。</p> <p>30秒または1分のプロファイルに基づくトラフィックチャプターは、プロファイルの粒度通りに反映されない不具合を修正しました。</p> <p>LDAP認証でログインしているユーザが、共有されているダッシュボードを見ることができない不具合を修正しました。</p> <p>プロファイル/チャンネル数が多い場合、及びフローデータの履歴が長いFlowmonのアップデート時間を改善しました。</p> <p>Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) でのコンフィグレーションステータスのチェックが、バックグラウンドの操作に影響される不具合を修正しました。</p> <p>無駄なHTTPS証明書をアップロードする際、失敗した原因について詳細な情報が表示されるようになりました。</p> <p>既知の不具合</p> <p>Flow Quality Analyzerでフローレコードの受信に問題が発生する可能性があります。 フローレコードの受信に問題が発生した場合の回避策は、フローデータのモニタリングポートを再起動することです。 本問題は、今後のバグフィックスリリースで解決される予定です。</p> <p>Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM Probeとの互換性はありません。 これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。 この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe リリースで対処される予定です。</p> <p>警告</p> <p>長期間使用しているハードディスクの一貫性チェックに関する警告の通知メッセージは表示されなくなりました。</p> <p>ログインページがデフォルトのページになり、ログイン前に各モジュールの選択画面は表示されなくなりました。</p> <p>ダッシュボードのタブの順番は、アップデート中に変更される場合があります。</p>
Ver 12.00.00	2022/3/2	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルのエクスポートすることが保証されています。 メジャーバージョン間のアップグレードについては、v11.01.13がFlowmon v11用にリリースされた最後のバージョンである場合、このバージョンからエクスポートされた構成はFlowmon 12と互換性があり、インポートできます。 以下のアプライアンスでは、Flowmonアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。 Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro, and Flowmon Probe 200000 Pro また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>フローのリストより、電子メールのSTARTTLSフローフィールド値がフローの詳細に正しく表示されるようになりました。</p> <p>Flowmon Packet Investigatorをインストールされていても、Configuration Center > システム設定のsyslogターゲットの操作を妨げなくなりました。</p> <p>DA構成で、ユニット間での不一致が発生した場合の通信不具合を修正しました。</p> <p>Flowmon OSのアップデート後、100GbEのモニタリングインターフェースに関する不具合を修正しました。</p> <p>DA構成で、Configuration Center > FMC設定 > リスニングポートにて一度に複数のリスニングポートを作成する場合、構成の不一致が発生しなくなりました。</p> <p>Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) において、アクセス制限を定義しても、設定の不一致が発生しなくなりました。</p> <p>Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) で作成された履歴プロファイルの履歴データがTPMで利用可能になりました。</p> <p>月の初日のアクティブデバイスに関するデータが、GMTからのタイムゾーンオフセットが大きいアプライアンスで利用できるようになりました。</p> <p>プリセットからのチャプターのローカライズに関する問題を修正しました。</p> <p>ユーザクビティログは、管理者 (admin) だけでなく、すべてのユーザを対象にフィルタリングできるようになりました。</p> <p>Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) にインポートされたユーザと役割を編集する際に、設定の不一致が発生してしまう問題を修正しました。</p> <p>Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) において、チャンネルのフィルタにスペースが入っている場合、構成の不一致が発生してしまう不具合を修正しました。</p> <p>MSPライセンスを利用している場合、テーマのカスタマイズ用のカスタムロゴは、Flowmon OSアップデート時に削除されてしまう問題を修正しました。</p> <p>RESTAPIガイドでの認証セッション (Authorize) に関する不具合を修正しました。</p> <p>Dashboards and Reportsにて、大量のトラフィックデータがあった場合、時系列グラフが空になってしまうことはなくなりました。</p> <p>RAID コントローラ PERC 750 を搭載したアプライアンスは、アプライアンスログの取得中にフリーズになってしまう不具合を修正しました。</p> <p>ルート証明書と中間証明書を使用したカスタムHTTPS証明書のインポートに関する不具合を修正しました。</p> <p>親プロファイルをフローデータのソースとして使用する必要がある場合、解析の時系列表示が機能できない不具合を修正しました。(現在のプロファイルでフローデータは期限切れになり、親プロファイルで使用可能になります)。</p> <p>Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) でのプロファイルに正しいソース プロファイル サイズが表示されない不具合を修正しました。</p> <p>Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) でのフロー統計の転送が、データベースインデックスのオーバーフローによって失敗してしまう不具合を修正しました。</p> <p>リソースマネージャにてソースプロファイルのクォータがディスクの使用状況に正しくカウントされるようになりました。</p> <p>プリセットを使用したダッシュボードのインストールは、プロファイル名が長い場合でも動作するようになりました。</p> <p>解析にてNATに関する集約を使用する場合、時系列表示でグラフが表示されない不具合を修正しました。</p> <p>フローデータのライブチェックに関する不具合を修正しました。</p> <p>Gold Supportの有効期限切れメッセージの表示に関する不具合を修正しました。</p> <p>Dashboard and Reportsにて時系列グラフのウィジェットでグラフの色とテーブルカラーが正しく一致するようになりました。</p> <p>Flowmon Probe PRO モデルでモニタリングポートを開始できない問題を修正しました。</p> <p>LDAP認証を使用しているユーザに対して、それらの役割を変更される場合、通知されるようになりました。</p> <p>LDAPサバからユーザに役割を割り当てることはできなくなり、役割の設定はLDAP設定に基づくものになりました。</p>

LDAPからのユーザの認証試行は、ローカル認証にフォールバックしなくなりました。
Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) でソースプロファイルを作成する際に、マスターユニット上のフローデータに使用可能なスペースが必要となっている不具合を修正しました。
役割変更後にUIがフリーズする不具合を修正しました。
Distributed Architecture (分散アーキテクチャ) でグローバルフローデータのライブチェック設定を適用すると、既存のすべてのフローソースでライブチェックが自動的に有効になるように修正されました。
Dashboard and Reportsで、先月のタイムスロットが正しく表示されない不具合を修正しました。
IPアドレスの名変更後の解析で、誤った値が表示される不具合を修正しました。
解析でのチャネル選択の応答が遅い問題を修正しました。
新機能
大規模なクラウドベースまたはハイブリッドインフラストラクチャでグローバルネットワークの可視性を提供するために、Flowmon Collectorは、クラウドネイティブフローソースである、Google Cloud VPC Flow LogsとAzure NSG Flow Logsからフローデータを受信できるようになりました。これらのソースからのフローは、他のフローと同じように処理し、解析することができます。Flowmon Collectorは、この機能を提供するために、オンプレミスまたはクラウドで展開することができます。
Flowmon Collectorは、AWS VPC フローログからのTCPフラグ情報を処理できるようになりました。
Flow Quality Analyzer - 受信したフローレコードの品質とFlowmon Collectorでの使い勝手をエキスパートユーザが評価するための新しいコマンドラインツールが導入されました。
DAモードにおいて、システムメッセージの通知でoriginating unitの情報を提供できるようになりました。
プリセットはConfiguration Centerから削除され、Dashboard and Reportsページ内の設定のみで利用できます。
ログインページがデフォルトのページに変更されました。他のページにアクセスする前にログインする必要があります。
ダッシュボードの各ウィジェットの上部に新しい拡大鏡アイコンが追加され、迅速なドリルダウンが可能になります。これにより、解析ページ上のウィジェットと同じように、データの概要を開きます。または対応するFlowmonモジュールにあるウィジェットと同じデータ概要を開きます。Monitoring Centerで定義されたウィジェットの場合、クエリを実行するか（[解析]で開いてクエリを実行する）、フィルタの追加修正後などにユーザが手動でクエリを実行できるようになりました。（[解析]で開く）
ダッシュボード上のウィジェットで、テーブルに対して新しいアクションが追加されました。これらのアクションにより、より詳細な解析が可能になり、テーブルに表示された結果（IPアドレスなど）をクリックボードに簡単にコピーすることができます（テーブルをクリックして、「クリックボードにコピー」を選択します）。または、拡張フィルタを使用して、解析でウィジェットと同じ結果の概要を開きます（[解析]で開いてフィルタに追加の選択あり）
Dashboard and Reports からPDFにエクスポートされたレポートのレイアウトは、より高い情報価値、読みやすい、新しいビジュアルスタイルを提供することに重点を置いて、ユーザにより多くの情報を提供するよう再設計されました。
Dashboard and Reportsにおけるチャプター一覧が強化されました。別のFlowmonモジュールで作成されたものも含め、利用可能な全てのチャプターが表示されます。
Dashboard and Reportsのチャプター一覧にて、チャプターの編集および削除を実行できるようになりました。編集または削除するチャプターが別のモジュールで作成されている場合は、それぞれのモジュールのチャプター編集ウィンドウにリダイレクトします。
各レポートのチャプターの上部に新しい拡大鏡のアイコンが追加されました。ダッシュボードと同様に、このオプションは高速なドリルダウンを可能にします。
解析ページまたは対応するFlowmonモジュールのチャプターと同じように、データの概要を開くことができます。Monitoring centerで定義されたチャプターについては、フローデータクエリをすぐに実行するか（[解析]で開いてクエリを実行する）、フィルタの追加修正後などにユーザが手動でクエリを実行できるようになりました。（[解析]で開く）
トポロジーを変更する際に即座にUIが反応し、その他多くのUIとUXが改善されました。
トポロジーウィジェットのリンクの詳細を再設計しました。
すべてのユーザプロファイルに対して十分な権限がない場合でも、そのユーザはトポロジーにアクセスできるようになりました（トポロジマップのデータは、ユーザが持っている権限に従ってのみ利用できます）。
Application Performance Monitoring (APM) のすべてのウィジェットとチャプターがDashboard and Reportsで利用できるようになりました。バージョン5.0以降のFlowmon APMモジュールに組み込まれたDashboard and Reports機能、APMウィジェットの名前とチャプターの名前、および説明が統合され、改善されました。複数のバグが修正され、APMチャプターのUIも改善されました。
Configuration Center> バージョン から使用可能なパッケージをインストールする際に、ユーザの承認を得るために、リリースノートが表示されるようになりました。
PHPがバージョン7.4に更新されました。
既知の不具合
Flow Quality Analyzerでフローレコードの受信に問題が発生する可能性があります。フローレコードの受信に問題が発生した場合の回避策は、フローエクスポーターを再起動することです。本問題は、今後のバグフィックスリリースで解決される予定です。
Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM Probeとの互換性はありません。これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe リリースで対処される予定です。
警告
長期間使用しているハードディスクの一貫性チェックに関する警告の通知メッセージは表示されなくなりました。
ログインページがデフォルトのページになり、ログイン前に各モジュールの選択画面は表示されなくなりました。
ダッシュボードのタブの順番は、アップデート中に変更される場合があります。
プロファイル又はチャネルの数が多い場合や、フローデータの履歴が長い場合、Flowmonのアップデートが完了するまで 1時間以上かかる場合があります。

バージョン11リリースノート

Flowmon Probe/Collector

注：Ver UP 時には再起動、及びファイルチェックが行われます。Ver UP ご検討の際にはご相談ください。

Ver.No	リリース日	追加機能		
Ver 11.01.13	2022/3/21	重要な情報		
		エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。		
		Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。		
		以下のアプライアンスを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。		
		修正された不具合		
		セキュリティ脆弱性CVE-2021-4034を修正しました。		
		MSPライセンスを利用している場合、テーマのカスタマイズ用のカスタムロゴは、Flowmon OSアップデート時に削除されてしまう問題を修正しました。		
		DA構成で、Configuration Center> FMC設定> リスニングポートにて一度に複数のリスニングポートを作成する場合、構成の不一致が発生しないようになりました。		
		DA構成で、ユニット間での不一致が発生した場合の通信不具合を修正しました。		
		Flowmon Packet Investigatorをインストールされていても、Configuration Center> システム設定のsyslogターゲットの操作を妨げなくなりました。		
		フローのリストより、電子メールのSTARTTLSフローフィールド値がフローの詳細に正しく表示されるようになりました。		
		DA構成で、Configuration Center> システム> タイムゾーンにてソース グループのインバウンド NTP 接続を許可しても、構成の不一致が発生しなくなりました。		
		既知の不具合		
		Flowmon11.0.xからFlowmon 11.1.xにアップグレードすると、「FMCLレポートを新しいDashboard and Reportsに移行するときに問題が発生しました。レポートを確認するか、<issues.flowmon.comへのリンク>」を参照してください。」というエラーメッセージが表示される場合があります。 このようなメッセージが表示された場合は、ブラウザで以下のアドレスを開いてください。 https://<appliance_ip_or_hostname>/ui/reports/fmc-to-nicoを手動で開き (<appliance_ip_or_hostname>には、アプライアンスのホスト名またはIPアドレスを代入する必要があります)、「Start migration」ボタンをクリックしてください。 この移行が正常に終了した場合、サポートに連絡する必要はありません。 Flowmonアプライアンスが複数のテナントで構成されている場合は、各テナントにこの手順を繰り返す必要があります。 テナントの切り替えは、Webインターフェースの右上にあるメニューで行うことができます。		
		Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM ProbeおよびFlowmon Packet Investigator Probeとの互換性はありません。 これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。 この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe および Flowmon Packet Investigator Probe バグフィックスリリースで対処される予定です。		
		Ver 11.01.12	2022/1/10	重要な情報
				エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。
Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。				
以下のアプライアンスを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。				
修正された不具合				
Flowmon Configuration Center>システム>証明書管理でのホストHTTPS証明書管理が修正されました。				
NSSセキュリティの脆弱性 (CVE-2021-43527) は改善されました。				
既知の不具合				
Flowmon11.0.xからFlowmon 11.1.xにアップグレードすると、「FMCLレポートを新しいDashboard and Reportsに移行するときに問題が発生しました。レポートを確認するか、<issues.flowmon.comへのリンク>」を参照してください。」というエラーメッセージが表示される場合があります。 このようなメッセージが表示された場合は、ブラウザで以下のアドレスを開いてください。 https://<appliance_ip_or_hostname>/ui/reports/fmc-to-nicoを手動で開き (<appliance_ip_or_hostname>には、アプライアンスのホスト名またはIPアドレスを代入する必要があります)、「Start migration」ボタンをクリックしてください。 この移行が正常に終了した場合、サポートに連絡する必要はありません。 Flowmonアプライアンスが複数のテナントで構成されている場合は、各テナントにこの手順を繰り返す必要があります。 テナントの切り替えは、Webインターフェースの右上にあるメニューで行うことができます。				
Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM ProbeおよびFlowmon Packet Investigator Probeとの互換性はありません。 これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。 この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe および Flowmon Packet Investigator Probe バグフィックスリリースで対処される予定です。				
Ver11.01.11	2021/12/14			重要な情報
				エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。
				Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。
				以下のアプライアンスを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。
				修正された不具合
				DA構成にて、プロファイル・チャネルに適用されるフィルタ設定の不一致が発生しないようになりました。
				DA構成にて、設定ファイルを使用してユーザと役割をインポートしても、構成の不一致が発生しないようになりました。
		Dashboard and Reports のプリセットよりインポートされたチャプターが、英語以外の言語を利用している場合、ウィジェットを追加できない問題を修正しました。		
		既知の不具合		

		<p>Flowmon11.0.xからFlowmon 11.1.xにアップグレードすると、「FMCLレポートを新しいDashboard and Reportsに移行するときに問題が発生しました。レポートを確認するか、issues.flowmon.comへのリンク>」を参照してください。」というエラーメッセージが表示される場合があります。</p> <p>このようなメッセージが表示された場合は、ブラウザで以下のアドレスを開いてください。<a href="https://<appliance_ip_or_hostname>/ui/reports/fmc-to-nico">https://<appliance_ip_or_hostname>/ui/reports/fmc-to-nicoを手動で開き（issues.flowmon.comには、アプライアンスのホスト名またはIPアドレスを代入する必要があります）、「Start migration」ボタンをクリックしてください。</p> <p>この移行が正常に終了した場合、サポートに連絡する必要はありません。</p> <p>Flowmonアプライアンスが複数のテナントで構成されている場合は、各テナントにこの手順を繰り返す必要があります。</p> <p>テナントの切り替えは、Webインターフェースの右上にあるメニューで行うことができます。</p> <p>Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM ProbeおよびFlowmon Packet Investigator Probeとの互換性はありません。</p> <p>これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。</p> <p>この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe および Flowmon Packet Investigator Probe バグフィックスリリースで対処される予定です。</p>
Ver11.01.10	2021/11/29	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルのエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>以下のアプライアンスを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>Dell PERC H750 を搭載したアプライアンスの安定性に関する問題を修正しました。</p> <p>影響を受けるアプライアンスは、Configuration Center > システム設定 > メンテナンスにてアプライアンスログをダウンロードする際にフリーズしなくなりました。</p> <p>プロファイルのチャネルに適用されたフィルタによって、DAモードでコンフィグレーションの不一致が発生してしまう問題を修正しました。</p> <p>DAモードでMonitoring Center > プロファイル > プロファイルの編集にて表示されるソースプロファイルのプロファイルサイズは、永続的に0に設定されなくなりました。値はソースプロファイルの実際のサイズを反映します。</p> <p>Monitoring Center > 解析 > 高度な解析の時系列表示が、TOP-Nテーブルの「その他」行に属するデータが正しく表示されない問題を修正しました。時系列のデータは正しくフィルタリングされ、テーブルのデータと一致します。</p> <p>Dashboard and Reportsでウィジェットのグラフとテーブルの色が一致していない問題を修正しました。</p> <p>DAモードで Monitoring Center > ソース > ソース編集にてフローデータのライブチェックの設定が正しく動作されない問題を修正しました。</p> <p>ソースプロファイルの設定したクォータは、Configuration Center > リソースマネージャ > クォータの管理の「ディスクの使用状況」のチャートに正しく含まれ、表示されるようになりました。</p> <p>Dashboard and Reportsのパフォーマンスおよび読み込み時間が改善されました。</p> <p>ソースプロファイルのクォータは、アプライアンスが多数の当該プロファイルホストしている場合でも、Configuration Center > リソースマネージャ > クォータの管理にてクォータの設定が変更できるようになりました。</p> <p>既知の不具合</p> <p>Flowmon11.0.xからFlowmon 11.1.xにアップグレードすると、「FMCLレポートを新しいDashboard and Reportsに移行するときに問題が発生しました。レポートを確認するか、issues.flowmon.comへのリンク>」を参照してください。」というエラーメッセージが表示される場合があります。</p> <p>このようなメッセージが表示された場合は、ブラウザで以下のアドレスを開いてください。<a href="https://<appliance_ip_or_hostname>/ui/reports/fmc-to-nico">https://<appliance_ip_or_hostname>/ui/reports/fmc-to-nicoを手動で開き（issues.flowmon.comには、アプライアンスのホスト名またはIPアドレスを代入する必要があります）、「Start migration」ボタンをクリックしてください。</p> <p>この移行が正常に終了した場合、サポートに連絡する必要はありません。</p> <p>Flowmonアプライアンスが複数のテナントで構成されている場合は、各テナントにこの手順を繰り返す必要があります。</p> <p>テナントの切り替えは、Webインターフェースの右上にあるメニューで行うことができます。</p> <p>Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM ProbeおよびFlowmon Packet Investigator Probeとの互換性はありません。</p> <p>これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。</p> <p>この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe および Flowmon Packet Investigator Probe バグフィックスリリースで対処される予定です。</p> <p>新機能に記載されている変更点は、リリース時に添付されていた「Flowmon User Guide」の日本語訳には反映されていません。</p> <p>この反映はFlowmon 12.0で追加される予定です。</p>
Ver11.01.09	2021/10/4	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルのエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>以下のアプライアンスを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>Flowmon 11.1.8で報告された、Webインターフェースの速度が低下したり応答しなくなったりする重大なバグを修正しました。</p> <p>このバグは、非表示システムメッセージがWebインターフェースに全て再表示され、その非表示システムメッセージ数に応じてWebインターフェースの速度が低下したり動作を停止したりする、長時間実行されるアプライアンスに影響を与えました。</p> <p>Dashboard and Reportに関するセキュリティを修正しました。</p> <p>既知の不具合</p> <p>Flowmon11.0.xからFlowmon 11.1.xにアップグレードすると、「FMCLレポートを新しいDashboard and Reportsに移行するときに問題が発生しました。レポートを確認するか、issues.flowmon.comへのリンク>」を参照してください。」というエラーメッセージが表示される場合があります。</p> <p>このようなメッセージが表示された場合は、ブラウザで以下のアドレスを開いてください。<a href="https://<appliance_ip_or_hostname>/ui/reports/fmc-to-nico">https://<appliance_ip_or_hostname>/ui/reports/fmc-to-nicoを手動で開き（issues.flowmon.comには、アプライアンスのホスト名またはIPアドレスを代入する必要があります）、「Start migration」ボタンをクリックしてください。</p> <p>この移行が正常に終了した場合、サポートに連絡する必要はありません。</p> <p>Flowmonアプライアンスが複数のテナントで構成されている場合は、各テナントにこの手順を繰り返す必要があります。</p> <p>テナントの切り替えは、Webインターフェースの右上にあるメニューで行うことができます。</p> <p>Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM ProbeおよびFlowmon Packet Investigator Probeとの互換性はありません。</p> <p>これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。</p> <p>この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe および Flowmon Packet Investigator Probe バグフィックスリリースで対処される予定です。</p> <p>新機能に記載されている変更点は、リリース時に添付されていた「Flowmon User Guide」の日本語訳には反映されていません。</p> <p>この反映はFlowmon 12.0で追加される予定です。</p>
Ver11.01.08	2021/9/23	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルのエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p>

		<p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>以下のアプライアンスを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>Monitoring Center> 解析の統計情報を取得するためのRESTful APIのエンドポイントが、ログインページに誤ってリダイレクトされる問題を修正しました。</p> <p>Monitoring Centerのプロファイルバックアップ機能で、リモートストレージの空きディスク容量が一時的に不足した場合に正しく処理されない問題を修正しました。実行中のバックアップは、リモートストレージの空きディスク容量が無くなると中断され、空きディスク容量が利用可能な状態に復旧すると、次のスケジュール実行時に再開されます。システムメッセージのアップデートプロセスに関するエラーメッセージが改善されました。エラーメッセージは、ネットワークに起因する接続性の問題、services.flowmon.comとの通信中のサービスの問題、無効な製品ライセンスに起因する認証の問題を正しく区別するようになりました。</p> <p>Netcope社製のネットワークインターフェイスカードを差し、Flowmon Probeアプライアンスが10G8モード（8x 10 Gbps）で動作しない問題を修正しました。</p> <p>DAモードでアプライアンスログのダウンロード機能は大量のログデータを扱うことができない問題を修正しました。</p> <p>「製品使用状況データの収集」機能のパフォーマンスが改善され、多数のコンフィグレーションを備えたアプライアンスのUI応答時間に悪影響を与えることはなくなりました。</p> <p>Monitoring Centerの解析> 高度な解析にてシャドウプロファイルの時系列グラフが正しく表示されない問題を修正しました。</p> <p>Dashboard and Reportsのレポートでレポート名に「&」を含む場合もPDFまたはCSVとして正しくエクスポートされるよう修正しました。</p> <p>DAモードにおけるデータ転送の信頼性が向上しました。</p> <p>統計プロファイルデータが正しく転送され、Master ユニット（TPM）に表示されるようになりました。</p> <p>Flowmon Probeアプライアンスは、DNSSECのDS(Delegation Signer) レコードを持つDNS/パケットを正しく処理されない問題を修正しました。</p> <p>アプライアンスログのダウンロード機能は、使用済みのディスクスペースが正しくクリーンアップし、ダウンロードの試行が中断または失敗することによるデータの蓄積が防止されるようになりました。</p> <p>Dashboard and Reportsからウィジェットデータを取得するためのRESTful APIエンドポイントは、タッシュボードIDに基づいて、返されたデータを正しくフィルタリングされない問題を修正しました。</p> <p>Dashboard and Reportsのトポロジウィジェットの「帯域幅使用率」が K/M/Gps単位に正しく変換されない問題を修正しました。</p> <p>DAモードにおけるコンフィグレーションの同期プロセスが最適化され、システム負荷の軽減、ユニットの応答時間の短縮、ユニット間の通信の信頼性の向上が図られました。プロファイルやクォータ管理などに関連する警告およびエラーメッセージが、有用な情報やヒントを提供するように書き換えられました。</p> <p>Dashboard and Reportsの時系列レポートが、Configuration Center> FMC設定> レポートの勤務時間が設定されていないでも正しく表示されるようになりました。</p> <p>Dashboard and Reportsのチャプターのパフォーマンスが改善され、チャプターの中に多数のチャンネルを持つ場合は正しく処理できるようになりました。</p> <p>Monitoring Centerからレポートおよびチャプターを取得するためのRESTful APIエンドポイントのパフォーマンスが改善され、数千のチャプターを含むレスポンスを処理できるようになりました。</p> <p>Flowmonのヘルプに登録されている「RESTAPIガイド」が更新され、Monitoring CenterにおけるRESTful APIの制限が正しい説明に修正されました。RESTful APIを介して実行される分析クエリは、10件の結果に制限されます。</p> <p>TOPチャプターを修正すると、不要な再計算が行われ、以前に計算されたデータが失われる問題を修正しました。チャプター名やチャプターの説明を再計算せずに変更できるようになりました。</p> <p>Flowmonのヘルプに登録されている「ユーザガイド」のMonitoring Centerのアーテートの制限を更新しました。</p> <p>Flowmon 11.1以降からシャドウプロファイルが利用可能となりました。（一部制限があります。）</p> <p>新機能</p> <p>Configuration Center> Syslogの「ユーザID情報解析」機能のデフォルトが拡張され、Edge Security Pack（ESP）を搭載したLoad Masterからのログを処理するためのルールを追加しました。</p> <p>既知の不具合</p> <p>Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM ProbeおよびFlowmon Packet Investigator Probeとの互換性はありません。</p> <p>これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。</p> <p>この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe および Flowmon Packet Investigator Probe バグフィックスリリースで対処される予定です。</p> <p>新機能に記載されている変更点は、リリース時に添付されていた「Flowmon User Guide」の日本語訳には反映されていません。</p> <p>この反映はFlowmon 12.0で追加される予定です。</p>
Ver11.01.07	2021/6/30	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルのエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>以下のアプライアンスを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>Dashboard and Reports> レポート> チャプター> 新しいチャプター から、Monitoring Centerのチャプターへ移動しチャプターの作成及び修正が出来るようになりました。</p> <p>GREまたはERSPANトンネルをデカパセリングするとき、Flowmon Probeは、トンネルエンドポイントに属する外側のMACアドレスの代わりに、トンネル内で通信するクライアントに属する内側のMACアドレスを正しくエクスポートするようになりました。</p> <p>LDAP ベースのユーザの設定は、分散アーキテクチャ において設定の不整合を起こさなくなりました。</p> <p>フローソースのライブチェックが、フローソース設定で有効または無効にできるようになりました。</p> <p>分散アーキテクチャで、すでに検出されたフローソースのSNMP IPアドレスを変更できるようになりました。</p> <p>分散アーキテクチャで、新しく検出されたフローソースが、フローソースのライブチェックのデフォルト設定を尊重するようになりました。</p> <p>Flowmonアプライアンスによって生成されるsyslogベースの通知および電子メールベースの通知の信頼性が向上しました。</p> <p>Dashboard and Reportsの言語切り替えの問題が修正されました。</p> <p>Dashboard and Reportsでチャプター編集やレポートで「asa event denied」フィルターを使用したチャプターを利用した場合、正しく表示されない問題を修正しました。</p> <p>Dashboard and Reportsで勤務時間が修正されました。</p> <p>Dashboard and Reportsでレポート作成時及び編集時に「共有」のチェックボックスをクリックする際、グループ名に数値が含まれていてもエラーにならなくなりました。</p> <p>新機能</p> <p>Flowmon Probeに4in6トンネリングプロトコルのデカパセル化を可能にする機能が導入されました。これにより、IPv6ネットワーク上で転送されたIPv4ネットワークトラフィックをデカパセル化し、分析する機能が追加されました。</p> <p>Configuration Center> モニタリングポート> グローバル設定> 高度な設定 で「4in6」オプションを有効にすると、続いて「DS-Liteとして処理」オプションが表示されます。このオプションを有効にすると、Dual-Stack Liteのブロードバンド導入時の可視化が向上します。詳細については、付属の『Flowmon User Guide』をご参照ください。</p> <p>Configuration Centerに、インタラクティブな製品内ガイドのセットが導入されました。ガイドでは、製品の主な機能についての簡単な説明 ガイドには、製品の主要な機能の簡単な説明と、それらを正しく使用するための有用なアドバイスが記載されています。</p> <p>なおこちらのガイドについては、Configuration Centerの各ページにアクセスする際、ユーザごとに一度だけ表示されます。</p>

		<p>製品の改善のために、使用統計、有効な機能、一般的な設定など、アプライアンスの設定に関する個人を特定できないデータを収集する機能が導入されています。この機能は、使用統計、有効な機能、一般的な構成など、アプライアンスの構成に関する個人を特定できないデータのみを収集するものです。この機能は、Flowmonアプライアンスに保存された、またはアプライアンスによって処理された顧客データを収集するものではありません。</p> <p>収集されたデータは、Configuration Center > システム > システム設定 > メンテナンス > 製品使用状況データの収集で確認できます。</p> <p>有効になると、収集したデータを安全な通信チャンネルを介して外部サーバーに送信します。</p> <p>これはデフォルトで有効になっており、上記製品使用状況データの収集で無効にすることが可能です。</p> <p>なお対話型ガイドと製品使用状況データの収集は密接に関連しており、一緒にしか有効化/無効化できません。</p> <p>Flowmon 11.1.7からは、Kemp Technologies, Inc.が提供する他の製品やコンテンツに合わせて、新しいカラーパレットとロゴを使用しています。</p> <p>既知の不具合</p> <p>Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM ProbeおよびFlowmon Packet Investigator Probeとの互換性はありません。</p> <p>これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。</p> <p>この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe および Flowmon Packet Investigator Probe バグフィックスリリースで対処される予定です。</p> <p>新機能に記載されている変更点は、リリース時に添付されていた「Flowmon User Guide」の日本語訳には反映されていません。</p> <p>この反映はFlowmon 12.0で追加される予定です。</p> <p>アプライアンスがFlowmon 11.1.7にアップデートされた後、「An error occurred during processing the request on 'services' server.」というエラーメッセージが、ウェブインターフェースに定期的に表示されるか、通知として送信されることがあります。この問題は、展開されているアプライアンスのごく一部にしか影響しません。この問題はFlowmon 11.1の次のバグフィックスリリースで解決される予定です。</p> <p>アプライアンスに同梱されているFlowmonユーザーガイドの「4.2.1 Maintenance」章の、「Product usage data collection」セクションに誤りがあります。本ガイドでは、これらの機能には「アプライアンスのインターネットへの接続が必要」と記載されていますが、これは誤りです。</p> <p>このドキュメントの「新機能」セクションに記載されているように、これらの機能は、Flowmonアプライアンスからではなく、Flowmonウェブインターフェースにアクセスするクライアント（ブラウザ）からインターネットへの直接接続を必要とします。</p> <p>この問題は、Flowmon 11.1の次のバグフィックスリリースで解決される予定です。</p>
Ver11.01.06	2021/5/17	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>以下のアプライアンスを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。</p> <p>Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro</p> <p>また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>Monitoring Center> 解析 にて、トラフィック量の多いプロファイルのトップ20以上の時系列グラフが正しく表示されない問題を修正しました。</p> <p>外部ストレージからプロファイルをリストアップしたときに、該当プロファイル名に特殊文字が含まれる場合、特殊文字を含んだプロファイル名を削除してしまう問題を修正しました。</p> <p>特殊文字を含むプロファイル名またはチャネル名を、作成時に切り捨ててしまう問題を修正しました。</p> <p>Flowmon プロブ アプライアンスでMySQL または MySQL プロトコルを監視するときにメモリが不足してしまう問題を修正しました。</p> <p>Monitoring Center > レポート > チャプターで多くのチャプターを表示するときのパフォーマンスを改善しました。</p> <p>Flowmon コレクタの TLS 対応リスニング ポートの安定性を改善しました。</p> <p>Flowmon Monitoring CenterからDashboard and Reportsへのレポートの移行が改善されました。</p> <p>Dashboard and Reportsのウィジェットの概要の円グラフは、数値で要約できる列が含まれている場合にのみ表示されるようになりました。</p> <p>Dashboard and Reportsで設定したレポートスケジュールにて、メール送付する際、添付ファイルの名前にレポート名が含まれるようになりました。</p> <p>LDAP 認証で、入力されたユーザ名の大文字と小文字が区別されてしまう問題を修正しました。</p> <p>既知の不具合</p> <p>Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM ProbeおよびFlowmon Packet Investigator Probeとの互換性はありません。</p> <p>これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。</p> <p>この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe および Flowmon Packet Investigator Probe バグフィックスリリースで対処される予定です。</p> <p>新機能</p> <p>Flowmon 11.1.6では、CA証明書を管理するための新しいシステム設定ダイアログを導入しました。</p> <p>新しい機能は、コンフィグレーションセンター > システム > システム設定 > 証明書管理 にあります。</p> <p>現在は主にプロキシで使用されるCA証明書の管理を目的としています。</p> <p>これにより、外部ネットワークへのアクセスにプロキシが使用されている環境のセキュリティ対策を向上させることができます。</p> <p>Flowmon 11.1.6 では、さまざまな通知メッセージに表示されるエラーコードのビジュアルが改善されています。</p> <p>エラーコードは、周囲のテキストと分離して表示され、ツールチップによる対処方法の説明と、Flowmonサポートが問題を解決する為に必要な情報の簡単な説明が表示されます。</p> <p>ライセンスとサポートの有効期限に関する管理者向けの新しい通知を導入しました。</p> <p>有効期限の 30 日前に電子メール通知がベース テナント管理者に送信されます。</p> <p>メールの本文にアプライアンスのHWID と、有効期限が切れるライセンスのリストが含まれています。</p> <p>トポロジーの編集機能が改善されました。トポロジー内のノードの位置は、編集フォームを離れるときに保存されます。</p> <p>警告</p> <p>Flowmon OS ver11.01.06以降では、プロキシサーバーとの通信時に厳密な相互認証が行われます。</p> <p>Configuration Center > システム > システム設定 > プロキシでアプライアンスにプロキシが設定されており、プロキシが HTTPS 検査（いわゆる SSL バンプ、HTTPS トラフィックの復号化と再暗号化）を行う場合、Configuration Center > システム > システム設定 > 証明書管理でプロキシの CA 証明書をアップロードする必要があります。</p> <p>プロキシを使用していないアプライアンスと、SSLバンプを実行しないプロキシを使用しているアプライアンスは、この変更による影響を受けません。</p> <p>Flowmon OS ver11.01.06 以降では、暗号化プロトコル TLS 1.0 および TLS 1.1 は、サポートされなくなりました。</p> <p>Flowmon プロブ 以外の TLS 対応のフロー ソースを使用している場合は、これらのフロー ソースが TLS 1.2 以降をサポートしていることを確認してください。</p> <p>トランスポート プロトコルの暗号化を使用していないフロー ソースは、この変更による影響を受けません。</p> <p>Flowmon 11.1 の LDAP 認証は、仕様変更としてユーザ名の大文字・小文字を区別しなくなりました。</p> <p>これは、Flowmon 11.1.6以降のFlowmon 11.1におけるLDAP認証が、11.1より前のバージョンと同じように動作することを意味します。</p> <p>例えば、LDAP認証を使用する場合、ユーザ名「JDoe」と「jdoe」は再び同一とみなされます。</p>
Ver11.01.05	2021/4/19	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>以下のアプライアンスを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。</p> <p>Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro</p> <p>また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p>

		<p>Flowmon 11.1にアップデートされたアプライアンスで、タイムゾーンが「(UTC+02:00) Europe/Prague」と異なる場合に、Webインターフェースでのフォーム送信が断続的に失敗する問題を修正しました。</p> <p>Flowmon 11.1にアップデートされたアプライアンスで、タイムゾーンが「(UTC+02:00) Europe/Prague」と異なる場合、レポートとアクティブデバイスが正しく動作しない問題を修正しました。</p> <p>5年以上前のFlowmon Probeハードウェアとの互換性が改善されました。 この不具合は、NetcopeネットワークインターフェイスカードがMellanoxネットワークインターフェイスカードに置き換えられたDell PowerEdgeR730に基づくFlowmon Probe 200000Proアプライアンスにのみ影響します。</p> <p>FlowmonアプライアンスがDAモードにデプロイされている場合、Flowmon Configuration Centerのリソースマネージャーが正しく機能できない問題を修正しました。</p> <p>Flowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、Netcopeネットワークインターフェイスカードのモニタリングポートの状態を正しく評価されない問題を修正しました。</p> <p>既知の不具合</p> <p>Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM ProbeおよびFlowmon Packet Investigator Probeとの互換性はありません。 これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。 この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe および Flowmon Packet Investigator Probe バグフィックスリリースで対処される予定です。</p>
Ver11.01.04	2021/3/29	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。 メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>以下のアプライアンスを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。 Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>1日でスケジュールされたレポートが、1日1回ではなく複数ごとに送信されてしまう問題を修正しました。</p> <p>既知の不具合</p> <p>Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM ProbeおよびFlowmon Packet Investigator Probeとの互換性はありません。 これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。 この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe および Flowmon Packet Investigator Probe バグフィックスリリースで対処される予定です。</p>
Ver11.01.03	2021/3/24	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。 メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>以下のアプライアンスを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。 Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>DAモードで、データが破損または不完全なユニットのステータスチェックに関する問題を修正しました。 破損したデータがある場合でも、ステータスが正しく報告されるようになりました。</p> <p>Flowmon Monitoring CenterでNPM遅延が0のフローを集約するときに、最小NPM遅延が正しく計算されていない問題を修正しました。</p> <p>Flowmonプロブの単方向フローの拡張NPMメトリックのエクスポートに関しての問題を修正しました。</p> <p>高さを手動で設定したウィジェットを更新するとFlowmon Dashboard and Reportsで使用可能なデータに合わせて自動的にサイズ変更される問題を修正しました。</p> <p>Flowmon Dashboard and Reportsでレポートの時系列グラフが小さなデータでは空になってしまう問題を修正しました。</p> <p>深夜に生成するようにスケジュールされたPDFレポートに、データが入力されない問題を修正しました。</p> <p>既知の不具合</p> <p>Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM ProbeおよびFlowmon Packet Investigator Probeとの互換性はありません。 これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。 この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe および Flowmon Packet Investigator Probe バグフィックスリリースで対処される予定です。</p>
Ver11.01.02	2021/3/10	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。 メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>以下のアプライアンスを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。 Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>Flowmon Dashboard and Reportsでのスケジュールされた電子メールレポートに関しての問題を修正しました。</p> <p>Flowmon Dashboard and ReportsでのNBAR2集約のTOPチャプターに関しての問題を修正しました。</p> <p>アクティブデバイスの、DAモードにおける設定の伝搬に関する問題を修正しました。</p> <p>DAモードで、プロキシユニット、スレーブユニット、スタンダアロンスレーブユニットに関するFlowmon Dashboard and Reportsへのアクセスが制限されていない問題を修正しました。 Flowmon Dashboard and Reportsはマスターユニットでのみアクセスできます。</p> <p>Flowmon Monitoring Centerにおいて、アラートの内容に時折不整合が発生するタイミングの問題を修正しました。</p> <p>Flowmon Monitoring Centerの解析において、TCPフラグのないフローに対するフィルタリング問題を修正しました。</p> <p>DAモードでチャプターの再計算要求が連続して発生する問題が修正されました。</p> <p>DAモードのインストール/アップデートパッケージの伝搬に関する問題を修正しました。</p> <p>新機能</p> <p>Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro, Flowmon Probe 200000 Proアプライアンスでは、Flowmon Configuration Center > モニタリングポート > インターフェース設定にて、小さいパケットのストリーム処理の最適化 (Maximum throughput) かつ、パケットバースト時にパケットドロップを最小限に抑えるための最適化 (Burst resistance) するオプションが追加されました。 この設定オプションは、バースト抵抗を増やすとモニタリングポートの最大スループットが低下し、その逆も同様であるというトレードオフの関係にあります。</p>

		<p>既知の不具合</p> <p>Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM ProbeおよびFlowmon Packet Investigator Probeとの互換性はありません。</p> <p>これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。</p> <p>この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe および Flowmon Packet Investigator Probe バグフィックスリリースで対処される予定です。</p>
Ver11.01.01	2021/2/1	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルのエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>以下のアプライアンスを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。</p> <p>Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro</p> <p>また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>Netcopeネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスでは、L7の可視性を実現するためにパケットトリミングを無効にする必要がある問題を修正しました。アプリケーションプロトコルの解析基準を満たさないパケットは、プローブによって無視され、プローブがクラッシュすることはありません。ただしL7プロトコル解析を行う場合は、パケットトリミングを無効にすることを勧めます。</p> <p>削除されたユーザに関連する古い設定が残っている場合、アップデート中にFlowmon Dashboardの設定が破損してしまう問題を修正しました。コンフィグレーションが破損してしまった場合、ダッシュボードが表示されなくなります。このようにして失われたダッシュボードは、コンフィグレーション上はまだ存在しており、サポートエンジニアが復元する必要があります。</p> <p>既知の不具合</p> <p>DAモードでのレポートチャプターの再計算に関する問題がありました。チャプターの再計算が直後に追加された場合、一部のチャプターの再計算が行われない可能性があります。この問題は、古いバージョンのFlowmonでも発見しました。チャプターの再計算が失われた場合、チャプターが再計算されません。</p> <p>ワークアラウンドは、指定されたチャプター編集ダイアログでチャプターを要求することにより、後でチャプターの再計算を行うようにします。</p> <p>この問題は、大幅に変更された新しいチャプターまたは変更されたチャプターに対して要求された再計算のみ影響します（編集ダイアログで通知されます）。</p> <p>この問題は、再計算以外の追加変更がない既存のチャプターに要求された再計算に影響はありません。</p> <p>Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM ProbeおよびFlowmon Packet Investigator Probeとの互換性はありません。</p> <p>これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。</p> <p>この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe および Flowmon Packet Investigator Probe バグフィックスリリースで対処される予定です。</p>
Ver11.01.00	2021/1/28	<p>重要な情報</p> <p>アップデート中にアプライアンスが再起動されます。</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルのエクスポートすることが保証されています。</p> <p>メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>以下のアプライアンスを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。</p> <p>Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro</p> <p>また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>レポートでインターフェースの翻訳に関するバグを修正しました。</p> <p>TACACS+の設定でCHAP認証が使用できなくなりました。</p> <p>TOPチャプターのウィジェットで「Bytes」の欄が消えてしまう問題を修正しました。</p> <p>レポートスケジューラーの「毎月」が、年が変わると動作せず、レポートが作成されない問題を修正しました。</p> <p>プローブ（PROモデル）からのトラフィックをモニタリングポートに基づいてプロファイル化できない問題を修正しました。</p> <p>チャプター編集でプロファイルの変更や削除などを行う際にウィジェットのクリーンアップが実行されるようになりました。</p> <p>ログローテーションの失敗を引き起こす問題を修正しました。</p> <p>ライセンス不具合の原因でHyper-Vのモニタリングポートが起動しない問題を修正しました。</p> <p>Flowmon dashboard and reports の通知メッセージが、選択された言語に翻訳されない問題を修正しました。</p> <p>VXLAN VNIフィルターの制限が16ビット整数から24ビット整数に増加しました。</p> <p>フローソースをGUI上で削除する場合、変更したフローソース名がデータベースから正しく削除されない問題を修正しました。</p> <p>利用可能なタイムゾーンのリストにUTCタイムゾーンが追加されました。</p> <p>ユーザ設定の「解決」の設定がFlowmon dashboard and reportsで反映されない問題を修正しました。</p> <p>プロファイルの編集からデフォルトで登録されているプロファイルを削除した場合、解析画面が表示されなくなる問題を修正しました。</p> <p>Flowmon dashboard and reportsで作成されたPDFのレポートにクリック可能な目次が追加され、各章に移動できるようになりました。</p> <p>転送データの可用性ステータスに関する問題を修正しました。</p> <p>プローブ上の一部のフローのエクスポートに遅延が生じる問題が修正されました。</p> <p>ユーザガイドの「インストールと設定」の章へのリンクを更新しました。</p> <p>パケットの断片化が原因で一部のフローでMAC値とVLAN値が欠落する問題を修正しました。</p> <p>Flowmonのアップデート中にディスク容量不足になる問題を修正しました。</p> <p>[All Ports]を選択せずにプロファイルされたソースを保存すると、Flowmon Monitoring Centerのインターフェイスのチェックボックスのラベルが壊れてしまう問題を修正しました。</p> <p>Flowmon Monitoring Centerレポートの編集にて「グラフのオプション」を変更すると、編集画面が消えて変更が適用できない問題を修正しました。</p> <p>過去のデータを解析するときに、1分のプロファイルのグラフが表示されない問題を修正しました。</p> <p>機密性の高いデータはアプライアンスログにエクスポートされなくなりました。</p> <p>Flowmon Configuration Center> システム> GPG設定の用語とローカライズが改善されました。</p> <p>「sampler_check.shを参照する」という誤解を招くようなエラーメッセージがシステムログに表示されなくなりました。</p> <p>プロファイル編集の際にサポートされていない文字が保存されないように入力検証が追加されました。</p> <p>GUI上で外部ストレージのIPアドレスが変更できない問題を修正しました。</p> <p>ユーザガイドのRTPジッターの説明を修正しました。</p> <p>フローエクスポートの削除はターゲットに関連するTCP / TLSファイルのみ削除されるようになりました。</p> <p>30秒のプロファイルに基づくアラートの詳細で誤った条件が表示される問題を修正しました。</p> <p>ソース監視にSNMPv3を使用する場合、Flowmon Probeのモニタリングインターフェイスに誤った番号が付けられる問題を修正しました。</p>

		<p>開始時刻と観測時刻の両方のフィールドを含むNSELのプロレコードで、フロー開始時間が正しく計算されない問題を修正しました。</p> <p>名前解決に時間が掛かる。または名前解決ができない場合、レポートのPDFをタイムリーに生成できない問題を修正しました。</p> <p>Flowmon Monitoring Centerで1500文字以上のフィルターを使用する際に発生する問題を修正しました。</p> <p>30秒プロファイルが多数にある場合Webインターフェイスの速度が低下し、使用できなくなる問題を修正しました。</p> <p>新しいVoIPプリセットは、推奨プロファイルを設定することでFlowmon Monitoring CenterのVoIP解析パフォーマンスが向上しました。</p> <p>新機能</p> <p>共有ダッシュボード ユーザはダッシュボードを別のユーザまたは役割と共有できるため、ダッシュボードの同じインスタンスを表示する（または許可されている場合は編集する）ことができます。</p> <p>事前定義ダッシュボード ユーザはダッシュボードを事前定義済みとして設定することができ、すぐに使えるダッシュボードとともに事前定義済みダッシュボードのリストとして表示されます。 他のユーザは、新しいダッシュボードを作成する際に独自のコピーを作成することができます。</p> <p>トポロジー 帯域幅の使用状況を地理的または論理的なコンテキストで示すトポロジーの視覚化機能を追加しました。トポロジーを既存のプロファイルやチャネルにマッピングします。 フローソースのライブチェックが改善されました。 SNMPに加えて、ライブチェック機能はソースから受信したフローデータを考慮して、フローが正しく配信されているかどうかを確認したり、配信されていない場合に報告したりできるようになりました。SNMPライブチェックと受信フローデータチェックの両方を組み合わせることもできます。 REST APIのユーザガイドが、すべてのアプライアンスでインタラクティブなガイドとして利用できるようになりました。これは快適な検索を提供し、REST API呼び出しの例を提供します。さらに、認証を含むローカルまたはリモートのFlowmon REST APIを使用して、ユーザガイドから直接呼び出しをテストできます。</p> <p>プリセット構成の一部としてアラートをサポートするようになりました。</p> <p>パケットの重複排除 Flowmonのモニタリングポートにパケット重複排除機能が追加されました。 Flowmon Probeが、Google Cloud VPC Packet MirroringやAWS VPC Traffic Mirroringなどのプラットフォームネイティブなパケットミラーリングソリューションからデータを受信している仮想環境において、重複を排除するのに特に役立ちます。 Webインターフェイス設定はデフォルトで有効になりました。</p> <p>Flowmon ProbeのVoIPトラフィック分析が改善され、「VoIP」と「拡張VoIP」の2つの選択肢が用意されました。 それぞれの選択肢には異なるパフォーマンスプロファイルがあり、異なるレベルの可視性を提供します。「拡張VoIP」は、RTP / RTCP関連を含む完全な可視性を提供し、最大10Gbpsの速度に適しています。「VoIP」はRTP / RTCP関連を提供しますが、高速ネットワークに適しています。 アップグレードされたアプライアンスでは、「拡張VoIP」がデフォルトです。</p> <p>セキュリティに関するアップデートが定期的に行われるようになりました。</p> <p>既知の不具合</p> <p>DAモードでのレポートチャプターの再計算に関する問題があります。チャプターの再計算が直後に追加された場合、一部のチャプターの再計算が行われない可能性があります。この問題は、古いバージョンのFlowmonでも発生します。チャプターの再計算が失われた場合、チャプターが再計算されません。 ワークアラウンドは、指定されたチャプター編集タイログでチャプターを要求することにより、後でチャプターの再計算を行うようにします。 この問題は、大幅に変更された新しいチャプターまたは変更されたチャプターに対して要求された再計算にのみ影響します（編集タイログで通知されます）。 この問題は、再計算以外の追加変更がない既存のチャプターに要求された再計算に影響はありません。 Netcpeネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスでは、L7の可視性を実現するためにパケットミラーリングを無効にする必要があります。 L7の可視性とパケットミラーリングを組み合わせると、アプライアンスが不安定になる可能性があります。 この問題はFlowmon v11.1.0にのみ影響し、今後のバグフィックスリリースで対処される予定です。 Mellanoxネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proアプライアンスは、APM ProbeおよびFlowmon Packet Investigator Probeとの互換性はありません。 これらのモジュールを取り付けて使用しようとすると、機器が正常に機能しなくなる可能性があります。 この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響し、今後の APM Probe および Flowmon Packet Investigator Probe バグフィックスリリースで対処される予定です。</p>
Ver11.00.11	2021/2/10	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。 メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>以下のアプライアンスを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。 Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>年を跨いで月次レポートの生成を設定していると正しくレポートが生成されない問題を修正しました。</p> <p>Flowmon Monitoring CenterでPDFレポート生成時のDNS名前解決の問題を修正しました。</p> <p>Flowmon Monitoring CenterのSIP数値フィールドのフォーマットが改善されました。</p> <p>新機能</p> <p>以下のセキュリティの脆弱性に対処しています。 CVE-2020-1472 CVE-2021-3156 この更新により、厳格なセキュリティガイドラインに準拠するようになります。</p> <p>既知の不具合</p> <p>FlowmonProbe 200000 Proアプライアンスは、APMおよびFlowmonPacketInvestigatorと互換性はありません。 これらのモジュールをインストールして使用しようとすると、アプライアンスが正しく機能しなくなる可能性があります。 この問題は、インストールされているFlowmonのバージョンに関係なく、すべてのMellanoxベースのアプライアンスに影響します。 今後のAPMおよびFlowmonPacketInvestigator のバージョンで対処される予定です。</p>
Ver11.00.10	2021/1/6	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。 メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>以下のアプライアンスを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。 Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro また、アプライアンスはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>分散アーキテクチャ構成の一貫性に影響を与えるマイナーな問題を修正しました。ユーザ設定とフローソースを変更した際に発生する不整合性に関する誤った通知がされなくなりました。</p> <p>IPv6ベースのトラフィックのアプリケーションプロトコルの可視性を修正しました。Flowmon ProbeでエクスポートされたフローでオプションのL7値が処理できるようになりました。</p> <p>新機能</p> <p>セキュリティに関するアップデートが定期的に行われるようになりました。</p>

Ver11.00.09	2020/11/30	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>以下のアップデートを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro また、アップデートはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>TCPを使用してフローを受信すると、Flowmon Collectorがフローソースと確立されたTCP接続を途中で切断する問題を修正しました。</p> <p>Flowmon Collector、Flowmon ADSまたはFlowmon DDoS Defender間のデータ引き渡し時のパフォーマンスに悪影響を与えていた問題を修正しました。</p>
Ver11.00.08	2020/11/23	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>以下のアップデートを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro また、アップデートはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>Flowmon Probe 20000 SFP+およびFlowmon Probe 40000 SFP+のアップデートのCPU使用率が最適化されました。高いバケットレートでトラフィックを処理する際にアップデートが過負荷になっていた問題を修正しました。</p> <p>全ての30秒・1分プロファイルがFlowmon Monitoring Centerで編集・保存できるようになりました。</p> <p>Flowmon CollectorのリスニングポートがTLSハンドシェイクの接続に1つでも失敗した場合、すべてのアクティブな接続を切断していた問題を修正しました。</p> <p>HTTPの第1レベルおよび第2レベルドメインに基づくTOPチャプタが修正されました。</p> <p>姓が空欄のユーザカウントであった場合、Flowmon Dashboard and Reportsへの移行プロセスが失敗していた問題を修正しました。</p> <p>Flowmon Probeの一部のフローをエクスポートする際に、大幅に時間をかけていた問題を修正しました。</p>
Ver11.00.07	2020/10/12	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>以下のアップデートを Ver11.00.07より最新へアップデートする場合、Flowmonのアップデートを正常に完了するために再起動を必要とする場合があります。Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000, Flowmon Probe 40000 Pro and Flowmon Probe 200000 Pro また、アップデートはFlowmonの更新プロセスによって自動的に再起動されます。</p> <p>修正された不具合</p> <p>Flowmon Probe 20000 Pro, Flowmon Probe 40000 Pro, Flowmon Probe 200000 ProのアップデートにおけるFlowmon更新プロセスの信頼性が向上しました。</p> <p>プロファイル済みのインターフェースがそれぞれのソースのSNMP更新後に混在してしまう問題を修正しました。</p> <p>内部識別子が判読不能なメッセージを表示する代わりに、欠落している文字のある翻訳は自動的に英語表記されるようになりました。</p> <p>Netcopeのネットワークインターフェイスカードを搭載したFlowmon Probe 200000 Proのアップデートの信頼性が向上しました。アップデート中はネットワークインターフェイスカードの初期化で断続的に問題が発生してしまう問題を修正しました。</p> <p>Flowmon Monitoring Center > Sourcesで、ソースのネットワークインターフェース速度の表示問題を修正しました。</p> <p>Flowmon v11.00.06へアップデート後、Flowmon Dashboardで既存のウィジェットが表示されない問題を修正しました。</p> <p>日本語の文字を含むチャンネル名とプロファイル名の編集に関する問題を修正しました。</p> <p>ユーザの言語設定がウェブインターフェイスで正しく処理されない問題を修正しました。</p> <p>単一のタイムサーバを使用する場合のNTP時刻同期の問題を修正しました。</p>
Ver11.00.06	2020/9/15	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>修正された不具合</p> <p>FMCのダッシュボードのウィジェットがFlowmonダッシュボードへの移行に失敗する問題を修正しました。</p> <p>DAモードにおけるリスニングポートのコンフィグレーションの通信により、コレクタを不要に再起動しパフォーマンスに悪影響を与えていた問題を修正しました。</p> <p>入力インターフェース・出力インターフェースのデータがレポートに正しく表示されない問題を修正しました。</p> <p>削除したユーザが所有していたレポートが自動的に削除されるように修正しました。 (エラーメッセージが表示されなくなりました。)</p> <p>Ver10.03.09からの移行エラーの原因となる問題を修正しました。</p> <p>CSV化されたレポートに、「送信元AS」と「送信先AS」の列名としてそれぞれ「sas」と「das」が表示されていた問題を修正しました。</p> <p>フラグメント化されたIPトラフィックを処理する際のFlowmon プローブの安定性が改善されました。</p> <p>プロファイル済みのソースが存在する時にディスクのクォータを変更すると、非ソースプロファイルが削除される問題を修正しました。</p> <p>NetCope カードを使用した 200 GbE プロブのモニタリングポートが、8x10GbE モードで起動しない問題を修正しました。</p> <p>Flowmon DDoS Defenderがインストールされている場合、「クォータの管理」の使用状況が100%を超えてしまう問題を修正しました。</p>
Ver. 11.00.05	2020/8/12	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p>

		<p>修正された不具合</p> <p>Web インターフェースのホスト名の変更が修正されました。</p> <p>Flowmonユーザガイドの4.1.4.4章に電子メール設定時の注意を追記しました。(英語版のみ) 一部のSMTPサーバーは認証時のアカウントと異なるメールアドレスを送信元に設定すると送信時に拒否されることがあります。</p> <p>SNMPv3を使用した場合のプロレコードのインタフェース識別子の問題を修正しました。</p> <p>DAモードでプロファイル化されたソース内のインタフェースがスレーブユニットに反映される問題を修正しました。</p> <p>カスタマイズしたIP名をエクスポートするCLIコマンドを追加しました。</p> <p>Netcope 200G2Qカードの「restore factory settings」のコマンド問題を修正しました。</p> <p>新機能</p> <p>アクティブデバイスとVoIP解析がマルチテナント設定のテナントユーザに利用できるようになりました。</p>
Ver.11.00.04	2020/7/13	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>修正された不具合</p> <p>ミコムネットワークカードと5GB未満のシステムパーティションを備えたアプライアンスでのFlowmonv11.0.3へのバージョンアップに関する問題を修正しました。</p> <p>名前がすべて数字で構成されているリスニングポートのステータスが正しく表示されない問題を修正しました。</p> <p>Flowmon Traffic RecorderからFlowmon Packet Investigatorへのアップグレードに関する問題を修正しました。</p> <p>高度な解析でDNSとTLSのフィルタが使用できない問題を修正しました。</p>
Ver.11.00.03	2020/6/30	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>修正された不具合</p> <p>FMCの高度な解析で、ログイン時にスペース文字を使用していると動作しない問題を修正しました。</p> <p>バックアップが有効な場合、プロファイルのインポートが失敗していた問題を修正しました。</p> <p>スケジュールに複数の電子メールアドレスを設定している場合に、FMCから新しいレポートへの移行が機能しない問題を修正しました。</p> <p>プロファイルツリーの再構築に非常に長い時間を要する場合、コレクタプロセスが終了してしまう問題を修正しました。(プロセスの再起動ループが発生する可能性があります)。</p> <p>GUI の不具合で、複数行に表示されていたエクスポート先が非表示になる問題を修正しました。</p> <p>DAモードでSyslogイベントログの設定がソースグループに正しく反映されない問題を修正しました。</p> <p>DAモードでのSNMP設定が全ユニットに正しく反映されない問題を修正しました。</p> <p>ターゲットの転送のフィルタが正しく動作するように修正されました。</p> <p>OSパーティションが5GB未満のアプライアンスでFlowmon v11.0へアップデートできない問題を修正しました。</p>
Ver.11.00.02	2020/6/15	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>修正された不具合</p> <p>モニタリングセンターでの解析画面で以前の結果がpdfファイルにエクスポートできない問題を修正しました。</p> <p>Flowmonダッシュボードの再送信インテックスウィジェットでは、状況の悪化による重大度を示すためにブレークポイントの色が変更されるようになりました。</p> <p>移行の問題を特定するため、レポートの移行に失敗した場合の通知を追加しました。</p>
Ver.11.00.01	2020/6/3	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである 場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。</p> <p>Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>修正された不具合</p> <p>レポートで設定した終了時刻が正しく適用されない問題を修正しました。</p> <p>TOPチャプタでのネットワークマスク(送信元/送信先)の問題を修正しました。</p> <p>フローのリストでオプションのIP情報をクリックするとエラーになる問題を修正しました。</p> <p>比較の"より小さい"(<)を使用したTOP1条件のアラートで、REST APIから適切な値を返さない問題を修正しました。</p> <p>REST APIユーザガイドのアラートタイプの ID情報を修正しました。</p> <p>ライセンス 画面に FPI ライセンスと FTRライセンスの両方が表示される問題を修正しました。</p> <p>コンフィグレーションセンターのライセンス画面では、FTAがライセンスされている場合にのみ、"Includes Traffic Analyzer functionality"と表示されるようになりました。</p> <p>XMLの コンフィグレーションファイルのインポートで、元の名前を使用するとチャンネルが正しく作成されない問題を修正しました。</p> <p>新しいプロファイルを作成時、事前に選択した親プロファイルから取得した無効なチャネルを持つプロファイルを保存するとプロファイルとチャンネルが作成されない問題を修正しました。</p> <p>TCP / UDPを介した高度なフロー転送は、フローレコードのNetFlow受信時間のフィールドに出力されるようになりました。</p> <p>前後にAS値が存在する場合、送信元と宛先のAS値が解析に表示されない問題を修正しました。</p> <p>ダミーチャンネルのログに関する誤ったエラーメッセージを削除しました。</p> <p>分散アーキテクチャのソースグループ内でスタンドアロンスレーブユニットに障害が発生した場合、プライマリマスターユニットは別のスタンドアロンスレーブユニットに正しく切り替わらない問題を修正しました。</p> <p>syslogクライアントの追加に関する問題を修正しました。</p> <p>ログマネジメントを改善しました。</p>

		<p>新機能</p> <p>アクティブデバイスでキー識別子を設定できるようになりました。 アクティブデバイスの識別子として、MACアドレス、IPアドレス、ユーザIDとMAC/IPアドレスの組み合わせを選択できます。 モニタリングセンターの高度な解析で、検索機能を備えたドロップダウンを追加しました。</p> <p>Hyper-V Generation 2は、互換性のある仮想アプライアンスのイメージと共にサポートされるようになりました。 AWSでのNitro-basedのインスタンスがサポートされるようになりました。 コンフィグレーションセンターのシステムでユーザインターフェースのセキュリティを向上させるために、基盤となるHTTPサーバのオプション機能のセットを追加しました。</p>
Ver. 11.00.00	2020/4/21	<p>重要な情報</p> <p>エクスポートされたコンフィグレーションファイルの前方互換性は、同じメジャーバージョン番号のすべてのリリースで保証されます。メジャーバージョン間では、前のメジャーバージョンの最後の安定版が、次のメジャーバージョンと互換性のあるコンフィグレーションファイルをエクスポートすることが保証されています。 メジャーバージョン間のアップグレードについては、v10.3.9がFlowmon v10用にリリースされた最後のバージョンである場合、バージョン10.03.09からエクスポートされたコンフィグレーションファイルにも対応しています。 Flowmon OSをバージョンアップするためには、まずDDoS Defenderをバージョンアップする必要があります。DDoS Defenderのバージョンが5.0.0以前の場合、Flowmon OSのバージョンアップができません。</p> <p>修正された不具合</p> <p>アラートのしきい値のデータと解析に表示されるデータの間に不整合が発生する問題を修正しました。 1 分粒度のトラフィックチャプターで、24 時間未満の空のグラフは表示されなくなりました。 Syslogメッセージの設定が再起動後に元に戻る問題を修正しました。 DAのスループユニットで、時系列で表示を使用するとタイムゾーンが切り替わる問題を修正しました。 30秒プロファイルが多数使用されている場合に、システムがファイルシステムのinodeを使い尽くす問題を修正しました。 Shadowプロファイルから作成されたRealプロファイルがリソースマネージャに表示されない問題を修正しました。 TOPチャプターで "残り" の値がマイナス値になっていた問題を修正しました。 IP通信に基づきTLS集約を使用したTOPチャプターの問題を修正しました。 FMDでトラフィックチャプターウィジェットを作成する場合、ユーザが "集約なし" オプションを設定できない問題を修正しました。 システムで、Flowmon 10G Probeのインターフェース速度設定を変更するオプションが表示されない問題を修正しました。 カスタムプロファイルに基づいて構築されたチャプターのトラフィックウィジェットのデータがない問題を修正しました。 ユーザのタイムゾーンとFlowmonに設定されているタイムゾーンが異なる場合、プロファイルを編集し保存できない問題を修正しました。 mysqlクローディングノリのデータ衝突に関するメッセージが、大量に出力される問題を修正しました。 アラート定義で設定したSNMPトラップアクションが正しく保存できない問題を修正しました。 統計情報での「時系列で表示」の複雑なフィルター定義でエラーが発生する問題を修正しました。 Syslog認証メッセージの構文解析プログラムが改行文字を受け付けない問題を修正しました。 管理インターフェースの設定で、サブネット重複の検証を行うようになりました。 トラブルシューティングをより良くするため、プロキシ設定でのテスト接続が改善されました。</p> <p>新機能</p> <p>レポートは新しいUIとして再設計され、さまざまなFlowmonモジュールのチャプターの組み合わせに対応し、より良いユーザエクスペリエンスとより幅広いスケジューリングオプションを提供します。 モニタリングセンターのレポートは、アップデート中に新しいレポートに移行されます。 Flowmon Ver11へアップデート後にモニタリングセンターのレポートに行われた変更は同期されませんので、ご注意ください。 新しいレポートのご使用をお勧めします。 Flowmon ダッシュボードの名前がDashboard and Reportに変更され、新しいレポート機能を利用できるようになりました。 モニタリングセンターのダッシュボードは削除され、独立した Dashboard and Reportsに置き換えられました。 ダッシュボードに新しいタブを作成する際、事前に定義されたダッシュボードから選択できる機能を追加しました。 「事前に定義されたダッシュボードから選択します。」を使用することで、ユーザは、Status、NetOps、SecOps、アプリケーションからダッシュボードを簡単に作成することができます（インストールされているモジュールにのみ対応可能）。 ダッシュボードタブからレポートに変換ができるようになりました。 設定テンプレートが改善され、セットアッププロセスが合理化し、ソリューションが全体的に簡単に使用できるようになりました。 利用可能な設定テンプレートの項目が、Dashboard and Report > 設定に追加されました。</p> <p>新しいウィジェット</p> <p>高レベルのウィジェットは、接続されているフローソース、セキュリティインシデントの数、重大度やアプリケーションの処理性能と概要（インストールされているモジュールによって異なります）などを一目で確認できるようになりました。 APM インデックスと再送信インデックスの KPI基準を可視化できる新しいウィジェットを追加しました。</p> <p>REST API</p> <p>アクセス権のあるアーキテクチャを再設計し、より柔軟なテナント管理が可能となりました。 このアクセス権の変更により、REST API 呼び出しに必要な変更がもたらされるため、REST API ユーザガイドをご参照ください。</p> <p>テナント</p> <p>多数のユーザ管理を容易にするため、ユーザの役割をテナントレベルで管理することができます。 役割の管理に階層が導入され、最高管理者（Base Tenant管理者）がテナントを作成し、フローソースとプロファイルの可視性を制限します。 テナント管理者は、テナント内のユーザと役割を管理し、次に各テナント内の個々のユーザを管理します。 これにより、アクセス権に縦割り構造が導入され、より使いやすく管理することができます。 テナント内のユーザは、テナント定義で指定されたデータのみを閲覧できます。 分散アーキテクチャから展開されるDAのステータス概要はUIから直接利用でき、ユニットの可用性ステータス、ユニットの接続形態ステータス、XML構成ステータス、およびDAのインストール済みパッケージステータスに関する視覚情報を提供します。</p> <p>VxLAN VNI IPFIXフィールドをサポートし、VxLANに基づいたトラフィック統計情報を提供する機能が追加されました。Flowmon ProbeはVNIを抽出し、IPFIXを介してこの情報をエクスポートします。VNIは、VxLANのカプセル化を有効または無効にして監視できます。 NPMメトリックスは、時系列データのデータ集約に加重平均を使用することによって、より正確な統計になりました。 Flowmonモジュールの動的メモリ管理により、メモリの一部を個々のモジュールに割り当てることができます。 一部のモジュールを優先的に使用することで、システムは個別に展開される状況により良く適応することができます。 フローソースSNMPライブチェックのタイムアウト設定ができるようになりました。</p>